

第3・4学年国語科学学習指導案

日 時 平成23年11月16日(水)5校時

場 所 音楽室

児 童 3年 6名 4年 5名 計11名

授業者 伊東 しのぶ

<3学年>

- 1 単元名 かるたを知ろう
教材名 かるた (光村図書3年下)

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領、第3学年及び第4学年の「C読むこと」の目標は、「(3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

この単元では、「記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合う」言語活動を通して、指導事項「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見の関係を考え、文章を読むこと。」「エ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。」という力を身に付けさせていく。

本教材「かるた」は、子どもの身近な題材を扱った説明的文章であり、学習指導要領に示された伝統的な言語文化に関わる内容を含んでいる。「はじめ」で一般的なかるたの紹介をし、「中」では代表的な「いろはかるた」や「百人一首」の事例を挙げ、「かるた」誕生の歴史を説明している。「終わり」では、対比的な述べ方を用いて「かるた」に込められた先人のちえを強調している。「終わり」の「大きなおくり物」と「中」とのつながりや、「貝おおい」の事例の役割を考えさせたい。また、ことわざや百人一首など身近にある日本文化に触れる機会となる教材になっている。

(2) 児童について

児童は、「イルカのねむり方／ありの行列」(光村3上)において、段落相互の関係や、問いと答えの関係を考え文章を読む学習を行っている。また、教科書以外の科学読み物を読み、「はじめ・中・終わり」に分けながらリーフレットにまとめる学習を行った。「すがたをかえる大豆／食べ物のみみつを教えます」(光村3下)においては、段落の要点をまとめながら、段落相互の関係や文章構成をとらえ、知らせたいことを落とさずに分かりやすくまとめる学習を行ってきた。

しかし、指示語の指し示す内容が押さえ切れていなかったり、内容が難しくなると、要点を捉えることができなくなったりするところがある。指示語が何を指しているのか考えながら読み進めることや、大事な言葉を押さえ、文相互の関係を考えさせながら要点を見付けさせることを大事にしていく必要がある。

<4学年>

- 1 単元名 科学読み物をしょうかいしよう
教材名 ウナギのなぞを追って(光村図書4年下)

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領、第3学年及び第4学年の「C読むこと」の目標は、「(3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

この単元では、「紹介したい本を取り上げて説明する」言語活動を通して、指導事項「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見の関係を考え、文章を読むこと。」「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」という力を身に付けさせていく。

本教材「ウナギのなぞを追って」は、ウナギがどんな一生を送る生き物なのかという謎を調査した内容やそこから分かったことを、調査の道筋に沿って分かりやすく書かれている科学読み物である。科学読み物であるので、時間的な順序だけでなく、事実と考えとの関係や段落相互の関係を考え読むことが大切となる。さらに単元の終末では、科学読み物を紹介する活動が設定されており、自分が興味をもった科学読み物を紹介するために、要約するという力が必要となり、子どもたちが学習の目的や必要感を明確にもつことができるような教材になっている。

(2) 児童について

児童は、「大きな力を出す／動いて、考えて、また動く」(光村4上)において、段落相互の関係や、事実と解説との関係に気を付けて文章を読む学習を行っている。また、教科書以外の科学読み物を読み、リーフレットにまとめながら、自分の知識や経験などと結び付けて感想を書いている。「アップとルーズで伝える／仕事リーフレットを作ろう」(光村4下)においては、段落相互の関係や写真と文章による説明の仕方に着目して読み取りを行い、視覚化して説明するために、写真と文章とを関係付けて説明する文章を書く学習を行っている。

しかし、大事な言葉を自分で見付けたり、考えたりして、文相互の関係を考えながら、文章にまとめることを苦手としている児童も多い。今回、自分の感想に沿った大事な言葉や文を抜き出して要約するという活動を行うが、子ども達が要約しやすいように、大事な言葉や文をそれぞれ、ワークシートと掲示に残していく必要がある。

(3) 指導にあたって

第一次では、単元の目標を「かるたを読んで小見出しをつけること」と、「かるたについて知ったことと調べたことを4年生に紹介すること」とし、学習計画を立てる。

第二次では、まず、指示語の指し示す内容や、段落毎の小見出しを考えながら読み取っていく。そして、毎時間内容や表現の仕方などについて感想を交流させていき、一人ひとりのとらえ方が違うことに気付かせたい。

第三次では、第二次でもった感想をもとに、かるたについてさらに深めたいと思ったことについて調べたり、かるた作りの活動をさせたりしたい。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

・かるたについて関心をもち、進んで文章を読んだり、人に聞いたりすることができる。

(2) 読むこと

・それぞれの段落で中心となる語や文をとらえ、引用したり、小見出しをつけて整理したりすることができる。(イ)

・「かるた」を読んで、考えたことを発表し合い、一人ひとりのとらえ方の違いに気付くことができる。(オ)

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

・指示語の役割を理解し、使うことができる。
(イ (ク))

4 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

・説明的な文章を読んで、感想をまとめたものを読み合い、互いの感じ方や考え方のよさを認め合おうとしている。

(2) 読むこと

・中心となる語や文をとらえながら読み、小見出しを立てて段落の内容を整理している。(イ)

・自分がつけた小見出しや、かるたを読んだ感想を発表し合い、友達との考え方の違いに気付いている。(オ)

(3) 言語についての知識・理解・技能

・ことわざや慣用語について関心をもち、意味や使われ方を調べている。(ア (イ))

・指示語について理解し、指示語を使ったやり取りをしている。(イ (ク))

(3) 指導にあたって

第一次では、単元の目標を『『うなぎのなぞを追って』を自分の感想に沿って要約すること』と、「科学読み物を要約し、友達に紹介すること」とし、学習計画を立てる。また、初発の感想の中心がどこからきているのか考えさせる。

第二次では、まず、事実と考察との違いをとらえたり、文章と図や表を対応させたりしながら内容を読み取っていく。そして、毎時間一次で考えた感想の中心に沿って大事な言葉や文をまとめていく。

第三次では、第二次で学習した要約する方法を使って、自分で選んだ科学読み物を要約し、紹介文を書く。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

・調査によって明らかになる事実と考察とで構成された調査報告文に興味をもち、進んで読むことができる。

(2) 読むこと

・目的によって、大事な語や文が違うことを理解できる。(イ)

・事実と考察の関係を押さえて読み、自分が興味をもったところ、感心したところを中心に、文章を要約したり引用したりして紹介することができる。(エ)

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

・指示語や接続語が文と文のつながりや段落相互の関係にとって大きな役割を果たすことを理解し、自分の表現にも使うことができる。(イ (ク))

4 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

・調査によって明らかになる事実と、考察とで構成された調査報告文に興味をもち、進んで読もうとしている。

(2) 読むこと

・目的によって、大事な語や文が違うことを理解している。(イ)

・必要な情報を区別し、目的に応じた要約をしている。(エ)

(3) 言語についての知識・理解・技能

・指示語や接続語が文と文のつながりや段落相互の関係にとって大きな役割を果たすことを理解し、自分の表現にも使おうとしている。(イ (ク))

5 単元の指導計画と評価規準

第3学年 教材名 かるた (9時間)

次	時	3年生の学習活動	3年生の評価規準
一	1	○かるたについて知っていることを交流する。 ○かるた遊びをする。 ○範読を聞く。 ○感想を交流する。	関かるたに関心をもち、生活経験を振り返りながら発表している。 読段落構成を意識しながら、書かれていることの大体の内容を理解している。
	2	○単元の学習を見通し、学習計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">かるたについて発見したことを4年生に伝えよう。</div> ○新出漢字練習・難語句調べ ○「はじめ・中・終わり」の文章構成をつかむ。	
二	3	○①段落の指示語を確認する。 ○①段落の大事な言葉や文を書き出し、小見出しを付ける。	関感想をまとめたものを読み合い、互いの感じ方や考え方のよさを認め合おうとしている。 読小見出しについて理解し、段落の内容を短い言葉で表している。 読友達と自分の考えの共通点や違いに気付いている。 言指示語の内容を理解している。
	4	○②③④段落について大事な言葉や文を書き出し、小見出しを付ける。	
	5	○②③段落の事例を読み取る。 ○なぜ④段落(貝おおいの段落)が入っているのか考える。	
	6	○⑤⑥段落について大事な言葉や文を書き出し、小見出しを付ける。	
三	7 本時	○結論の意味を考え、文章全体のつながりをとらえる。 ○内容や表現の仕方などについて感想をまとめ、交流する。	関感想をもとに、ことわざやかるたについて調べたり、自分でかるたを作ったりしている。 読調べたり、かるたを作ったりしたことも含めて、全体の感想をまとめている。
	8	○調べたり、かるたを作ったりしたことも含めて、全体の感想をまとめる。	
	9	○4年生にかるたについて調べた物や作った物を紹介する。	

第4学年 教材名 ウナギのなぞを追って (11時間)

次	時	4年生の学習活動	4年生の評価規準
一	1	○段落ごとに読む。 ○「はじめ・中1・中2・終わり」の文章構成をつかむ。 ○初発の感想を交流する。	関観察報告文を読み、興味をもったところを中心に要約して紹介文を書く活動に意欲をもっている。 読科学読み物に興味をもって読み、感想をもっている。
	2	○感想の中心がどこから来ているのか考える。 ○単元の学習を見通し、学習計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">科学読み物のおもしろさを友達に紹介しよう。</div> ○新出漢字練習・難語句調べ	
二	3	○①～③の段落を詳しく読み内容をまとめる。	関要約したものを読み合い、互いの感じ方や考え方のよさを認め合おうとしている。 読段落相互の関係に気を付けて読み、「はじめ・中・終わり」の構成をとらえて、内容を正確につかんでいる。 読感想の中心によって、大事な言葉や文が違うことを理解している。 読感想の中心に沿って言葉を書き出しながら読み進めている。 読必要な情報を選び出し、要約している。 言考えなどを表す文末表現を使って、文を作っている。
	4	○④～⑥の段落を詳しく読み、内容をまとめる。	
	5	○⑦⑧の段落を詳しく読み、内容をまとめる。	
	6	○⑨～⑪の段落を詳しく読み、内容をまとめる。 ○それぞれの段落のつながりを考える。	
三	7 本時	○感想の中心に沿った要約をする。	
	8	○要約した物を使って紹介文を書く。	
三	9	○科学読み物を読む。	関要約したものを読み合い、互いの感じ方や考え方のよさを認め合おうとしている。 読必要な情報を選び出し、要約している。 言考えなどを表す文末表現を使って、文を作っている。
	10	○紹介したい科学読みものを決め、その内容を要約する。	
	11	○科学読み物を紹介する。	

(4) 板書計画

3年

<p>か</p> <p>かるた</p> <p>江橋 崇</p> <p>筆者の伝えたいことを考えて、感想をまとめよう。</p>	<p>ひ</p> <p>かるたは、</p> <p>先人のちえとは何かワークシートに書く。</p>	<p>ま</p> <p>小さくて</p> <p>手軽な遊び道具です。</p> <p>けれども、先人のちえが詰まった、</p>	<p>大きな</p> <p>おくりものでもあるのです。</p> <p>日本だけの遊び方がくふう 昔から伝わるちえや教え 美しいけしきや世の中の出来事、 人の気持ち カード遊びに貝おおいを取り入れた いろいろなるたが生みだされている</p>	<p>ま</p> <p>かるたは、先人のちえが詰まった大きなおくりものである。</p>	<p>感想</p> <p>①筆者が伝えたいことに対しての感想</p> <p>②これから調べたいこと、やってみたいこと</p>
--	--	--	---	---	--

ま	ひ	か
<p>感想の中心によって、要約がちがう。</p>	<p>① 接続語を使う。 ② はじめ・中・終わりの段落にわたる。 ③ 文末をそろえて書く。</p>	<p>大切（要約の意味）</p>
<p>要約のポイント</p> <p>① 研究に長い年月がかかったこと</p> <p>② レプトセファルスの旅</p> <p>に沿った大事な言葉の表は揭示</p>		
<p>ウナギのなぞを追って</p> <p>塚本 勝巳</p> <p>自分の感想にそった大事な言葉をもとに、要約をしよう。</p>		

3年生の感想の例

今日勉強をして、かるたには、昔の人のちえや教え、美しい景色や世の中の出来事、人の気持ちなどがこめられているから大きなおくり物なのだということが分かりました。

私は、ことわざを調べて、どんなちえや教えがあるのか調べてみたいです。

4年生の要約文の例

《レプトセファルスの旅》

日本じゅうのウナギが集まっていっせいにたまごを産む場所は、マリアナの海である。ウナギは、海流に流されてはるばる日本にやってくる。

初めに、台湾近くの海で体長54ミリメートルのレプトセファルスが発見された。もっと海流の上流に行くと、40、30、20ミリメートルと、だんだん小さなレプトセファルスが見つかった。マリアナ諸島の西、北赤道海流の中で、10ミリメートル前後のレプトセファルスが発見された。ついに、マリアナ諸島の西にある海山付近で、体長5ミリメートル、生後わずか2日のレプトセファルスが見つかった。

つまり、マリアナ諸島の海山付近がウナギがたまごを産む場所だとほぼ分かった。しかし、広い海の中、どうやって日本までたどりつくのかは分かっていない。

《長い年月がかかったこと》

ウナギがたまごを産む調査は、1930年ごろはじまった。場所がつきとめられるまで、70年以上の年月がかかった。

1967年、初めに体長54ミリメートルのレプトセファルスがとれた。1973年には、塚本さんが調査に加わり、体長が40、30、20ミリメートルのレプトセファルスを発見した。18年後には、10ミリメートル前後、生後20日のレプトセファルスを発見した。1994年に、今までに分かったことを整理した。しかし、たまごも生まれてすぐのレプトセファルスも取れないことが何年も続いた。やっと2005年6月7日に体長5ミリメートル生後二日目のレプトセファルスが見つかった。二つの予想に基づいて調査を始めてからなんと10年近くかかった。

このように、長い年月をかけて場所は明らかになった。しかし、まだまだなぞがある。

授業観察シート（3年「かるた」）

1 目指す児童像

- ・ 叙述を根拠に文章の内容を正確に理解できる子ども
- ・ 課題や読み取った内容に対して、自分の感想・意見をもつことができる子ども

2 身につけさせたい読解力

- ・ 筆者の主張を読み取ることができる。

3 学習用語（指導事項）

- ・ 筆者・小見出し

4 学習展開の工夫

- ・ 筆者が伝えたいことを考える。
- ・ かるた全体の感想を持たせ、第三次との関連を図る。

5 発問

意図	具体的な発問・説明・指示	授業の様子
先人のちえを考えさせることで筆者がかるたは大きな贈り物だと言っている意味を考えさせる。	先人のちえとはなんでしょう。	
第三次との関連を図り、自分たちが調べたことまで書かせる。	①筆者の伝えたいことに対しての感想②調べてみたいことやってみたいことの二つの段落で感想をまとめましょう。	

6 その他（反省的実践に基づいた授業全般について）

授業観察シート（4年「うなぎのなぞを追って」）

1 目指す児童像

- ・自分の考えを話したり，文章に書いて表現したりすることができる子ども

2 身につけさせたい読解力

- ・要点をもとに、要約することができる。

3 学習用語（指導事項）

- ・要約

4 学習展開の工夫

- ・要約のポイントに沿って、要約する。
- ・要約の見直しの際、要約のポイントに沿ってよさを認め合う。

5 発問

意図	具体的な発問・説明・指示	授業の様子
要約のポイント（接続語、段落構成、文末）に沿って要約する。	ポイントに沿って、要約をしましょう。	
学び合いの観点を示し、お互いの良さを認め合う。	ポイントに沿って良いところを付箋に書きましょう。	

6 その他（反省的実践に基づいた授業全般について）

--

